

令和7年度 いしかわ保育・教育アドバイザー派遣事業の流れ

いしかわ保育・教育アドバイザー派遣は、東京大学Cedepが開発した園内研修ツール「HoiQ（ホイキュー）」をアドバイザーも訪問園の保育者も活用し、子どもの姿を起点に園の保育・教育について語り合う。また、必要に応じて子どもの目線に立った助言を行います。

「HoiQ」には、「子どもにとって」という視点から保育について考えていく際の視点が多く集められています。

アドバイザー

- ・アドバイザーは、県の養成研修を受講した者（主に県内施設の施設長等）で、別に定めるアドバイザーとしての役割や心得、H o i Qを学んだものとする
- ・アドバイザーは原則2名でチームを組み派遣する（なるべく異なる施設類型で編成）
- ・アドバイザーチーム内でリーダーを決め、派遣される園（派遣園）と打合せを行う
- ・日程が合えば、学識経験者（主に保育士等養成校の先生）も同行

派遣の期間等

- ・派遣期間は令和7年6月～令和8年3月
- ・原則、祝日を除く月曜から金曜日の午前9時～午後5時の間の希望日時に派遣する
- ・1施設につき、年1回(1日)まで県が経費負担し派遣（2回目以降は派遣園の負担）

【派遣までの流れ】

派遣の申込等

- ・派遣園は、派遣希望日の1か月前までに派遣依頼書（様式1）を県（少子化対策監室幼児教育・保育人材グループ）に提出する
申込先：tagawa1218@pref.ishikawa.lg.jp
- ・アドバイザーチームと派遣園で日時の調整を行う
- ・アドバイザーチームリーダーと派遣園で当日の流れや内容を事前に打ち合わせする
- ・派遣園において、派遣されるアドバイザーの駐車場等を確保すること

派遣当日（例）

※原則、派遣園にアドバイザーが訪問して実施。場合によってはオンラインも可
※以下は例であり、実際の時間配分や流れはリーダーと派遣園で打合せにより決定

○10:00～11:30

- ・派遣園から園の保育（現状）の説明
- ・申込みの理由や、見て欲しいところや認識している課題について、園側からアドバイザーに伝える
- ・保育観察

○11:30～13:00

- ・お昼休憩
- ・アドバイザー間での打合せ

○13:00～14:30

- ・保育観察を受けて、視点に沿って子どもについて語り合う（H o i Q活用）

派遣終了後

- ・派遣終了後、2週間以内に実施報告書（様式2）を県に提出する
- ・派遣園においては、県の事業の研究・調査への協力をお願いします